

■ 社会安全学部連続セミナー(全13回)を大阪で初開催! ■
「東日本大震災 復旧・復興5年の検証」を開催
～ 南海トラフ地震など、巨大複合災害への政策課題にも言及 ～

このたび関西大学社会安全学部では、東日本大震災がもたらした諸課題および今後の巨大災害に備えるための政策課題を検証すべく、全13回にわたる連続セミナー「東日本大震災 復旧・復興5年の検証」を、2016年10月7日(金)から2017年1月20日(金)の毎週金曜日に、関西大学梅田キャンパスにて開催します。

本セミナーは、本年4月から7月に関西大学東京センターで開催し、参加者から好評を博した連続セミナー(全15回)をベースに、一部内容を更新かつ最新の情報を加えて大阪の地で開催するものです。その目的は、震災発生から5年が経過した現在において残された諸問題を改めて検証するとともに、今後発生が懸念される南海トラフ地震や首都直下地震など、巨大複合災害に備えるための政策課題を明らかにすることです。なお本セミナーは、2013年より毎年テーマを変えながら東京で開催しており、大阪での開催は初となります。

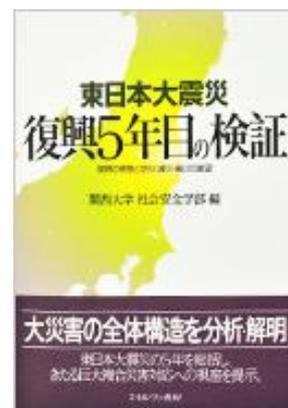
社会安全学部ではこれまで、東日本大震災発生直後に、大震災がもたらした戦後最大の危機を解明する「緊急シンポジウム」を開催し、震災発生から1年後には、復旧・復興に向けての考察結果をまとめた『検証 東日本大震災』(2012, ミネルヴァ書房)を出版するなど、日本の防災・減災分野の教育・研究を牽引する教育機関として、「安全・安心」な社会づくりに向けた働きかけを積極的に行ってきました。さらに発生5年後の今年3月には、前著のフォローアップとして『東日本大震災 復興5年目の検証』(2016, ミネルヴァ書房)を出版しました。

そうした取組みの一環として開催する本セミナーは、出版本とリンクした内容となっており、取り扱うテーマは、この5年間で震災発生直後に指摘した問題がどうなったのか、また我が国の災害対策の傾向がどう変化したのかといった総論から、原発や津波、地域復興、被災者支援といった各論に至るまで幅広い分野に及び、自然災害・社会災害の最小化を目指した教育・研究を展開する社会安全学部教授陣がリレー形式で解説します。

つきましては、告知のご掲載に関しましてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- 【日 時】 2016年10月7日(金)～2017年1月20日(金)の
毎週金曜日 18:00～20:00 ※実施しない週あり
- 【場 所】 関西大学梅田キャンパス 8階ホール(大阪市北区鶴野町1-5)
- 【内 容】 東日本大震災発生から5年を総括した総論および工学・社会学・
経済学・法学・心理学的知見からの検証報告 <プログラム詳細別紙>
- 【定員・対象】 150名(先着順)・どなたでも可 【受講料】 1万円(全13回分)
- 【申込方法】 関西大学社会安全学部ホームページ [http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/]
内の専用申込フォームからお申込みください。
- 【申込期日】 9月12日(月)
- 【本セミナーに関する一般のお問い合わせ先】
関西大学社会安全学部 TEL: 072-684-4000



社会安全学部叢書 第5巻
[2016.3.31 ミネルヴァ書房]

以上

※本件に関するご取材につきましては、月ごと(9・10・11・12月の計4回)に別途案内状を送付します。

ご取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当: 石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■プログラムの詳細（予定）

第1回（10月7日）	開講にあたって/東日本大震災5年の検証	安部 誠治
第2回（10月14日）	データでみる東日本大震災	永松 伸吾
第3回（10月28日）	津波防災の課題と新たな取り組み	高橋 智幸
第4回（11月4日）	地震学と地震防災の課題～東日本大震災から明らかになったこと～	林 能成
第5回（11月11日）	交通機関の復旧・復興と残された課題	西村 弘
第6回（11月18日）	巨大複合災害としての東日本大震災と心配な国難災害	河田 恵昭
第7回（11月25日）	災害ボランティアをめぐる課題	菅 磨志保
第8回（12月2日）	東日本大震災における液状化被害	小山 倫史
第9回（12月9日）	被災者支援の法制度	山崎 栄一
第10回（12月16日）	東日本大震災と保険	桑名 謹三
第11回（12月23日）	東日本大震災が企業のリスクマネジメントに及ぼした影響	亀井 克之
第12回（1月13日）	福島第一原発事故後のリスクコミュニケーション	土田 昭司
第13回（1月20日）	福島第一原発事故と新原子力安全規制/終了あいさつ	小澤 守

■関西大学社会安全学部とは（2010年4月開設）

「安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成します」

防災・減災・事故防止・危機管理を専門に学ぶ日本で初めての学部・大学院です。

自然災害や社会災害は、普段は気がつかないような、私たちが生きる上での問題を浮き彫りにします。社会安全学部・大学院社会安全研究科では、安全・安心というレンズを通して、私たちが生きる社会や人間、自然を洞察し、そこにある問題を解決することで、自然災害・社会災害の最小化を目指しています。

法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、工学、情報学、理学、社会医学など、多様な学問分野による融合研究・教育を展開し、またこれら既存の学問を総合して、問題を解決する能力を養います。

■関西大学梅田キャンパスについて（2016年10月開設）

開催場所となる梅田キャンパスは、本年10月に開設する新キャンパスです。

同キャンパスは、「人を導き、繋ぎ、自ら起こし、創る“人”を育成～“考動”を实践する場の創出～」をコンセプトに、地域・社会人・大学がともに発展できる新たな拠点となることを目指します。

また、学びの高度化・多様化のニーズに応えるとともに、地の利を生かした様々な交流を推進し、本学が有する知的資源を発信していきます。具体的には、「スタートアップ支援・起業家育成」「異業種間交流を通じた新たなビジネスの創出」「社会人学び直し・生涯学習」を大きな柱として、幅広い分野での事業を展開する予定です。

